

教育センター学びの丘長期研修員研修における学びについて

和歌山市立東中学校

教諭 須川 滯

「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した研修の概要を基に、一年間の学びについての所感を述べる。

研究では、これまでの自分を振り返り、取り組んできた授業実践について見つめ直す良い契機となった。生徒が主体的に探究の過程を遂行するには、どのような手立てが必要となるか、どのような単元構想を行うべきか考え、提案授業を行うことができた。作成された検証計画書も、授業が進むにつれてより質の高いものに発展し、主体的に取り組むことに加え、理科の見方・考え方を働かせる授業づくりができたと実感している。今後は、小学校、高等学校とのつながりも踏まえ、より深く研究していきたいと考えている。

修養では、多くの研修講座を受講することを通して、自己の教科を多面的に見つめる良い機会となった。これまでは、中学校理科に関する研修を中心に受講してきたが、様々な校種、教科の視点に立つことで、初めて得られる気付きや学びも多く、「学び続ける教員」とはどのようなものかを改めて考えることができた。

今後は、1年間の学びを学校や地域に還元するとともに、ミドルリーダーとして、リーダーシップやフォロワーシップを発揮し、全教職員が一体となって学校を運営していけるよう、尽力したい。